

## 仏像の鑑賞方法や桑原の歴史を学ぶ 仏の里美術館2周年記念講演会



▲仏像解説と仏像の鑑賞法を聞く参加者

4月13日、かなみ仏の里美術館で開館2周年記念講演会が行われました。

講演会には、約80人が参加。講師は、美術館顧問と美術館館長が務め、「仏像解説と仏像の鑑賞法」、「桑原地区の仏像へのかかわりと歴史」をテーマに講演が行われました。

「仏像解説と仏像の鑑賞法」では、実際に仏の里美術館の仏像を見て回りながら丁寧に説明をし、参加者はうなずきながら話に聞き入って仏像を眺めました。

## 野外ステージを多彩に活用 文化センターゾーン完成・知恵の和館1周年記念式典



4月13日、函南町文化センターゾーン・かなみ知恵の和館で函南町文化センターゾーン完成・かなみ知恵の和館開館1周年記念式典が行われました。

文化センターゾーン完成式典には、来賓や教育関係者など約50人に出席していただきました。完成式典のアトラクションでは、町文化協会の団体による歌や踊り、東中学校吹奏楽部による演奏などを披露。知恵の和館では、絵本のお話し会、人形劇、バルーンアート教室などが行われ、多くの親子連れでにぎわいました。



①文化センターゾーン完成式典②ジュニアコーラス函南によるコーラス③エコグレースによる合唱④儀衆しわかによる太鼓の演奏⑤東中学校吹奏楽部による演奏⑥文化協会舞踊連盟による日本舞踊⑦子ども読書アドバイザーによるお話し会⑧バルーンアーティスト瞳さんによるワークショップ⑨りぼんクラブによる紙芝居

## 被災者の相続、生活相談など 県司法書士会・行政書士会と協定



▲協定を締結した西川司法書士会会長、森町長、岸本行政書士会会長（左から）

3月25日、函南町役場で函南町・県司法書士会・行政書士会の両団体と「災害時における被災者支援協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、大規模災害が発生した際に、町は司法書士・行政書士業務における被災者支援の要請ができます。司法書士は相続に関する相談を受け、行政書士は官公署に提出する書類の作成に関する相談などを行います。

両団体は、東日本大震災の被災者支援を行っており、相続・不動産登記や権利書紛失問題への対処、生活相談などを行っています。

## 新入学児童の交通安全を願って 黄色い帽子を贈呈



▲帽子を贈呈する露木理事と藤原会長（左から）

3月31日、明るい社会づくり運動連合会函南地区協議会（藤原三夫会長）から、小学校新入学児童が身に付ける黄色い帽子が贈呈されました。

黄色い帽子によって運転手に子どもの存在を知らせ、交通事故防止のために、この寄贈は毎年恒例で行われています。

この帽子は4月に町立小学校5校に新入学した児童297人（男子：159人、女子：138人）に入学式で配られました。

## ワールドバルーンコンベンション 中山さん2部門で優勝



▲2部門で優勝したことを報告する中山さん

3月24日～3月31日に米国で開催され、世界53カ国約900人が出場したワールドバルーンコンベンション（2年に1度開催）に、函南町出身の中山仁美さんが出場し、2部門で優勝したことを森町長に報告しました。

出場したのは、花で祝うがテーマの「テーブルアレンジメント部門」と頭にかぶることを想定した「バルーンハット部門」で、日本人らしい繊細さを表現しました。

中山さんは、「これからもたくさんの人を笑顔にしたい。」と笑顔で話しました。

①和菓子和日本髪を表現し、かんざしと和菓子で飾った「和菓子」  
②ブライダルを表現した「Happy Marriage」